様　　式　　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：施設課
節・細節：31　軌道修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

	8年度　A	7年度　B	増△減(A-B)
予　　算　　額	1,426,588	1,212,324	214,264

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
1　材料補充	206,426

（1　事業目的・内容）

（1）レール交換事業分　購入

令和8、9年度レール交換事業で使用するレール、伸縮継目レール、接着絶縁レールを購入します。
購入時期を調整し、債務負担を設定しています。

（2）締結装置交換事業分　購入

令和8、9年度締結装置交換事業で使用する締結装置を購入します。

（3）上永谷車両基地分岐交換事業分

上永谷車両基地分岐器交換事業分の分岐器を購入します。

(4)軌道用品一式

分岐器部品の予備や、直営作業用の継目板や犬釘といった軌道用品を購入します。

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	191,797	206,426				
債務負担設定	78,100					

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課
節・細節: 31 軌道修繕費			課長名: 鶴岡 正宏

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
2 軌道整備	188,360

（1 事業目的・内容）

（1） 列車走行により、バラスト道床に繰り返し荷重がかかり、軌道に変位が生じます。放置すれば、軌道部材（レール等）の歪みや劣化がすすみ、列車走行に支障をきたす恐れがあるだけでなく、軌道材料の交換周期も短くなるため、軌道の変位を元に戻し、列車走行の安全及び軌道の維持を図ります。

・軌道整備工Ⅰ（マルタイによる突き固め整備） 8,473m
急曲線部で定期的に施工する区間と、計画にて全線の突き固めを完了させる区間及び軌道検測データ等により決定する区間

・軌道整備工Ⅱ（人力よる突き固め整備） 1,943m
分岐器周りの突き固め（2年及び8年周期）及び関内～伊勢佐木長者町駅間の急曲線区間

・軌道整備工Ⅲ（車両基地人力による突き固め整備） 1,226m
上永谷車両基地の4年及び新羽車両基地の9年周期と軌道状態により施工を決定する区間

・排水溝清掃工 1,944m
軌道の道床排水溝に滞積した遊離石灰や粉塵等による排水不良は、悪臭等の原因となり駅の環境を悪化させるほか、溢れた排水により軌道が浸水する恐れがあることから、清掃を行います。

・道床清掃工 1,304m
軌道の道床に滞積した綿埃等による発煙や発火事故を抑止するほか、塩害による軌道材料の劣化防止やトンネル内部の環境を改善するため、清掃を行います。

・職員通路・昇降階段整備工 1式
車両基地内の職員が使用する歩行通路及び車両への出入りのための昇降階段に損傷や劣化が生じていることから、修繕や交換を行います。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

（4 年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	172,356	188,360				
債務負担設定						

※令和11年度以降毎年継続

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課
節・細節: 31 軌道修繕費			課長名: 鶴岡 正宏

（単位:千円）

【事業内容】	8年度予算額
3 レール交換	695,838

（1 事業目的・内容）

レール交換の長期計画及び、直営の検査結果に応じて選定したレールの交換を行います。

【令和7年度契約工事】

(1) 上永谷構内36・37分岐器改良及びその他工事【R7年度契約】
　交換延長 3,828sm

(2) 令和7年度レール交換及びその他工事【R7年度契約予定】
　交換延長 3,602sm

(3) 関内・阪東橋間（下り）軌道改良及びその他工事【R7年度契約予定】
　交換延長 1,845sm

(4) 令和7年度高速鉄道1号線レール交換工事【R7年度契約予定】
　交換延長 2,317sm

【令和8年度契約工事】

(5) 令和8年度高速鉄道1号線レール交換及びその他工事【令和8年度契約予定】
　交換延長 2,000sm

(6) 令和8年度高速鉄道3号線レール交換及びその他工事【令和8年度契約予定】
　交換延長 2,700sm

(7) 令和9年度高速鉄道3号線レール交換及びその他工事【令和8年度契約予定（余裕期間制度）】
　交換延長 3,000sm

（2 前年度から変更・見直しした点）

工事不調により遅れが生じているため、年間の交換数量を調整します。

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

（4 年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	435,734	695,838				
債務負担設定	532,566					

※令和11年度以降毎年継続

様　　式　　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：施設課
節・細節：31　軌道修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

【 事　業　内　容 】	8年度予算額
4　　締結装置交換	[redacted]

（1　事業目的・内容）

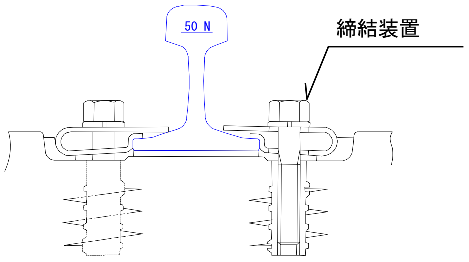
・締結装置交換工　3,435m

締結装置は、バネ・ボルト・ゴム等で構成されている軌条部品です。

レールとマクラギを締結する締結装置は、列車走行の繰り返し荷重を受けることと、経年劣化による締結力不足により軌間拡大・縮小が発生し、限度を超えると列車の脱線事故に至るため、交換周期を定め、定期的に交換を行います。

令和8年度　施工予定箇所

施工場所	施工延長（m）	締結種類
①仲町台～センター南（上り）	306	YP-1
②新羽～仲町台（上り）	312	YP-1
③新羽～仲町台（下り）	284	YP-1
④関内～阪東橋（上り）	355	YS-2,YS-3
⑤港南中央～上永谷（下り）	200	YP-1
⑥港南中央～上永谷（上り）	150	YP-1
⑦上永谷～下永谷（上り）	612	YP-1
⑧舞岡～戸塚（下り）	515	YP-1
⑨戸塚～踊場（上り）	701	YP-1,YS-3
合計	3,435　m	



年間計画

	締結種類別延長（m）					施工延長（m）	施工金額（千円）
	YP－1	YP－4	YS－1	YS－2	YS－3		
R6年度	847					847	17,366
R7年度	4,228	51			203	4,482	91,289
R8年度	3,030	6		144	255	3,435	[redacted]
R9年度	3,143		428			3,571	[redacted]
R10年度	2,895			70	396	3,361	[redacted]

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　　額
事　　業　　費	85,250	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]
債務負担設定						

※令和11年度以降毎年継続

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：施設課
節・細節：31　軌道修繕費			課長名：鶴岡　正宏

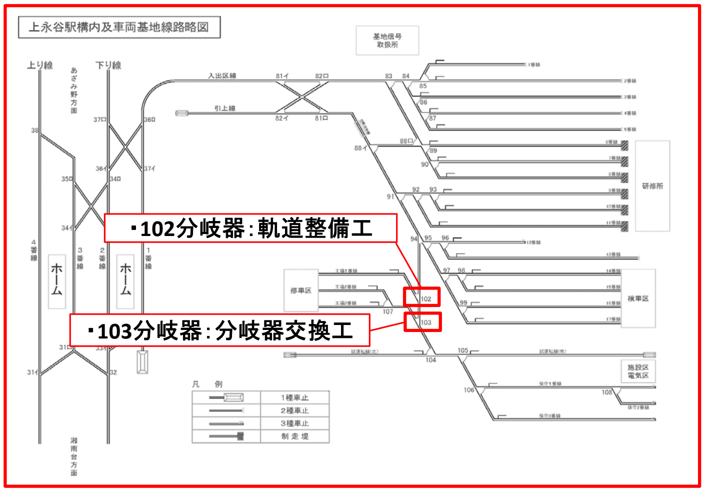
（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
5　上永谷車両基地分岐器交換	[redacted]

（1　事業目的・内容）

上永谷車両基地内に設置されている老朽化した分岐器について、計画に基づき交換します。
また、前年度交換した分岐器部についても道床安定化のため、軌道整備を行います。

・分岐器103　：　分岐器レール類交換、道床交換、マクラギ交換、軌道整備
・分岐器102　：　軌道整備（R7年度交換箇所）



上永谷車両基地分岐器交換計画

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
交換分岐器	87番	102番	103番	107番	96番	94番	105番	95番	104番	106番

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	59,584	[redacted]				
債務負担設定						

※令和11年度以降毎年継続

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：施設課
節・細節：31　軌道修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
6　道床及びまくらぎ交換	[redacted]

（1　事業目的・内容）

・ 道床砕石（バラスト）の劣化により軌道変位を誘発する原因となっていることから劣化が進行している箇所について交換を行います。

また、まくらぎについても損傷が著しいものを合わせて交換します。

港南中央～上永谷（上下線） 576m （4年計画）

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	128,605	[redacted]				
債務負担設定		[redacted]				[redacted]

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
7　レール削正	[redacted]

（1　事業目的・内容）

軌道の急曲線部等では、レールと車輪の接触により、レール頭部に凹凸（波状摩耗）が発生します。この波状摩耗の上を列車が通過すると、大きな騒音・振動が発生し、乗り心地に影響を与えたり、沿線住民にも騒音・振動の影響を与えることがあり、お客様の声も寄せられています。

また、繰り返しかかる列車荷重により、レール表層に疲労層が蓄積し、レール損傷等につながるおそれもあります。

以上、お客様CS（乗り心地改善、騒音・振動対策）及びレール延命化を目的とし、レール削正を行います。

・レール削正（約5,200m）
車内環境改善及びレール延命
お客様対応（振動・騒音対応）区間

（2　前年度から変更・見直しした点）

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	110,987	[redacted]				
債務負担設定						

※令和11年度以降毎年継続

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担　当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課
節・細節: 31 軌道修繕費			課長名: 鶴岡 正宏

（単位:千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
8　レール探傷検査	[redacted]

（1 事業目的・内容）

レールは、列車荷重を直接受けることで摩耗、損傷することや、継目部からき裂が発生することがあります。また、漏水区間では、電食による損傷等が発生します。このような損傷が徐々に進行することにより、レール破断が引き起こされます。

そこで、レールの損傷やき裂を早期に発見してレール破断を未然に防ぐことや、重点監視箇所及び今後のレール交換計画の検討を行うため、レール探傷検査を実施します。

・レール探傷１次検査　（あざみ野～湘南台間上下線　延長 約81.2km）
牽引式超音波レール探傷器によりレールの損傷及びレール内の傷の状態を測定します。

・レール探傷２次検査　20箇所
１次検査の結果により、２次検査（詳細調査）を行います。

・トングレール探傷（あざみ野～湘南台間　分岐部）　22箇所
超音波レール探傷器により、トングレールの損傷及びレール内の傷の状態を測定します。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

（4 年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	28,011	[redacted]				
債務負担設定						

※令和11年度以降毎年継続

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担　　当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課
節・細節: 31 軌道修繕費			課長名: 鶴岡 正宏

（単位:千円）

	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予　算　額	122,461	139,229	△ 16,768

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

（単位:千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
1　材料補充	6,485

（1 事業目的・内容）

（1）普通レール 購入
軌道整備工事で交換するレールを購入します。

（2）摩擦調整材 購入
騒音等の抑制を目的にグリーンラインに設置されている摩擦調整材塗布装置に使用する摩擦調整材を購入します。

（3）軌道用品一式 購入
直営作業用の継目板やボルトナット、軌道パッドといった軌道用品を購入します。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

（4 年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	6,123	6,485	4,180	4,180	4,180	25,148
債務負担設定						

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課
節･細節: 31 軌道修繕費			課長名: 鶴岡 正宏

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
2 軌道整備	[redacted]

（1 事業目的･内容）

列車の走行により、バラスト道床に繰り返し荷重がかかると軌道に変位が生じ、そのまま放置しておくと軌道部材（レール･締結装置等）の経年劣化を早めるばかりか、軌道材料の交換周期が短くなり、軌道変位を助長し最終的に列車走行に支障をきたします。
軌道変位を元に戻すことにより、列車走行の安全及び軌道の維持を図ります。

･軌道整備工（車両基地内人力による突き固め整備）
軌道保守長期計画に則り、車両基地の約1/6を整備（道床突き固め）します。

軌道整備工	5年度事績	6年度実績	7年度予定	8年度予定	9年度予定	10年度予定
留置線等(m)	323	417	508	427	207	285
分岐器（基）	2	4	3	3	3	3

･車両基地内のシーサスクロッシングから引き上げ線間は、軌道狂い（通り変位）が大きいため、バラストを補充して道床範囲を拡大することで変位を抑えます。
･車両基地転削線において、破損した踏切部の部材を交換します。
･中山駅～川和町駅間の一部区間において、軌道狂い（水準変位）及び道床とまくらぎの間に浮きが生じているため、可変パッドを用いて変位及び浮きを抑えます。

（2 前年度から変更･見直しした点）

（3 根拠法令･規程、現場の意見等）

（4 年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	12,094	[redacted]				
債務負担設定						

※令和11年度以降毎年継続

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担　当
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	目：10 線路保存費	所属：施設課
節・細節：31 軌道修繕費			課長名：鶴岡 正宏

（単位：千円）

【事 業 内 容】	8年度予算額
3　レール交換	[redacted]

（1 事業目的・内容）

直営による巡回点検やレール検査により損傷が確認されているレールの交換を行います。

・レール交換工

令和8年度実施予定は以下のとおりです。

上り	中山～川和	11ｋ665～11ｋ740	75m
上り	東山田～北山田	4ｋ400～4ｋ500	100m
計			175m

軌道整備工	5年度実績	6年度実績	7年度予定	8年度予定
レール交換工(sm)	43	25	380	175
クロッシング交換工(基)	1	1	0	0

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

（4 年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	22,759	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]
債務負担設定						

※令和11年度以降毎年継続

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　　当
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	目：10 線路保存費	所属：施設課
節・細節：31 軌道修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
4　レール削正	[redacted]

（1　事業目的・内容）

軌道の急曲線部等では、レールと車輪の接触により、レール頭部に凹凸（波状摩耗）が発生します。
この波状摩耗の上を列車が通過すると、大きな騒音・振動が発生し、乗り心地に影響を与えたり、沿線住民にも騒音・振動の影響を与えることがあり、お客様の声も寄せられています。
また、繰り返しかかる列車荷重により、レール表層に疲労層が蓄積し、レール損傷等につながるおそれもあります。
以上、お客様CS（乗り心地改善、騒音・振動対策）及びレール延命化を目的とし、レール削正を行います。

・レール削正（約4,400m）
車内環境改善及びレール延命
お客様対応（振動・騒音対応）区間

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市高速鉄道土木実施基準、軌道整備心得、線路検査心得

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	87,205	[redacted]				
債務負担設定						

※令和11年度以降毎年継続

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
5　レール探傷	[redacted]

（1　事業目的・内容）

レールは、列車荷重を直接受けることで摩耗、損傷することや、継目部からき裂が発生することがあります。また、漏水区間では、電食による損傷等が発生します。このような損傷が徐々に進行することにより、レール破断が引き起こされます。
そこで、レールの損傷やき裂を早期に発見してレール破断を未然に防ぐことや、重点監視箇所及び今後のレール交換計画の検討を行うため、レール探傷検査を実施します。

・レール探傷２次検査　10箇所
経過観察箇所について、必要に応じて２次検査（詳細調査）を行います。

・トングレール探傷（日吉～中山間　分岐部）　10箇所
超音波レール探傷器により、トングレールの損傷及びレール内の傷の状態を測定します。

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	11,048	[redacted]				
債務負担設定						

※令和11年度以降毎年継続

		様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：資産活用課
節・細節：32　諸構築物及び諸設備修繕費			課長名：星野　尊

（単位：千円）

	8年度　A	7年度　B	増△減(A-B)
予　算　額	8,301	9,000	△　699

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

（単位：千円）

【　事　業　内　容　】	8年度予算額
1　　駐車場等修繕費	[redacted]

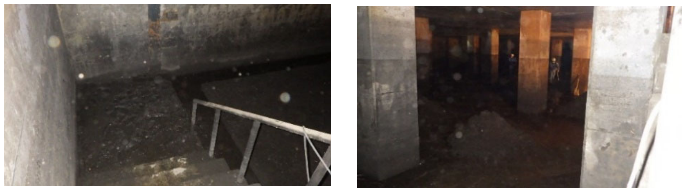
（1　事業目的・内容）

横浜交通開発株式会社が管理運営を行っている駐車場・駐輪場については、当局所有の土地について賃貸借契約を締結して貸付を行っています。駐車場・駐輪場に設置するフェンス等は当局財産であるため、自然災害や経年劣化で生じた要修繕箇所について、貸主としてする補修工事を行う義務があります。

（1）　上耕地第2駐車場
　フェンス支柱基礎部補修

（2）　耕地第2駐車場
　フェンス支柱基礎部補修

（3）　川向町第1駐車場浚渫工事
　汚泥浚渫、運搬、処分費用安全管理費等（625.5㎡）



（2　前年度から変更・見直しした点）

・フェンス補修は、緊急性の高い箇所を優先して実施しています。
　令和7年度も同箇所の実施を予定していましたが、予定外の別の箇所を優先して実施する必要が生じたため、令和8年度に再計上します。
・浚渫工事は令和2年度以降実施していないため、現地の状況を見て実施を判断する必要があり、継続して予算を計上します。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

横浜市交通局公有財産規程
民法第606条1項（賃貸人による修繕等）

様　　式　　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：資産活用課
節・細節：32　諸構築物及び諸設備修繕費			課長名：星野　尊

（単位：千円）

【 事　業　内　容 】	8年度予算額
2　　高架下駐車場等漏水対策	[redacted]

（1　事業目的・内容）

高架下の駐車場等において、駐車場等事業の運営に支障をきたさないよう、漏水が発生している箇所の修繕対応を行います。

【令和8年度対象箇所】

丸山台第2駐車場

【状況例】丸山台第2駐車場

（2　前年度から変更・見直しした点）

これまで当該事業の漏水対策については、施設課が施工する漏水対策事業に含めて施設課の予算で対応を行っていましたが、駐車場等の運営に関する当該事業部分については、今後は資産活用課で予算を計上します。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 資産活用課
節・細節: 32 諸構築物及び諸設備修繕費			課長名: 星野 尊

（単位：千円）

	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予　算　額	[redacted]	400	[redacted]

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
1　高架下駐車場等漏水対策	[redacted]

（1 事業目的・内容）

高架下の駐車場等において、駐車場等事業の運営に支障をきたさないよう、漏水が発生している箇所の修繕対応を行います。

【令和8年度対象箇所】
センター南駅第3駐輪場

（2 前年度から変更・見直しした点）

これまで当該事業の漏水対策については、施設課が施工する漏水対策事業に含めて施設課の予算で対応を行っていましたが、駐車場等の運営に関する当該事業部分については、今後は資産活用課で予算を計上します。

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

様　　式　　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予 算 科 目			担　　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：施設課
節・細節：32　諸構築物及び諸設備修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

	8年度　A	7年度　B	増△減(A-B)
予　　算　　額	332,221	301,358	30,863

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

（単位：千円）

【 事　業　内　容 】	8年度予算額
1　　材料費	5,406

（1　事業目的・内容）

軌道改良工事及び構築補修工事並びに日常点検で発見された不具合のある排水溝蓋について、撤去設置工に使用する材料を購入します。
その他、諸構築物の維持管理・補修等の措置に必要な材料費を計上します。

排水溝蓋（アンチスリップ鋼板）

（2　前年度から変更・見直しした点）
軌道改良工事の使用数量及び物価高騰を考慮

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位：千円）

【 事　業　内　容 】	8年度予算額
2　　諸構築修理	[redacted]

（1　事業目的・内容）
地下鉄の安全運行の確保やお客様向けサービス施設等の維持を目的として、トンネル内の補修、敷地内のフェンス修理及び舗装修理など、土木構造物の修理を緊急に行います。

（2　前年度から変更・見直しした点）
軌道改良工事の使用数量及び物価高騰を考慮

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　　額
事　　業　　費	3,000	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]
債務負担設定						

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：施設課
節・細節：32　諸構築物及び諸設備修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
3　構造物検査委託	[redacted]

（1　事業目的・内容）

・地下鉄全線の構造物の変状を調査し、劣化進行の予測及び健全度を把握するために、国土交通省通達に基づき2年に1回行うこととされる通常全般検査Ⅰ（目視検査）を実施します。
・前回実施した通常全般検査Ⅰの結果、詳細な検査が必要とされた構造物に対して、精度の高い健全度の判定を行うことを目的として、通常全般検査Ⅱ（目視・打音検査）を毎年実施します。
・山岳トンネルのひび割れ幅の測定を行い、経年によるトンネル変状の追跡を毎年実施します。
・1号線（関内～上永谷間）において、軌道直上の開口部（通風口）の老朽化により、通風口内部のコンクリートに剥落のおそれがあるため、詳細な検査（目視・打音検査）及び健全度の判定を毎年実施します。
・高架、橋梁部の橋脚と桁の間に設置している支承の変状を把握するために、地下鉄全線において高架支承部検査（目視検査）を毎年実施します。
・高架橋と道路の交差部に設置している衝突防止桁の変状を把握するために、1・3号線において高架橋衝突防止桁検査を5年毎に実施します。

※令和8年度対象箇所

検査項目	検査対象	検査方法
通常全般検査Ⅰ	3号線　あざみ野～関内	十分な照明を用いた徒歩による目視検査
通常全般検査Ⅱ	1・3号線　湘南台～あざみ野	前回実施した通常全般検査Ⅰの結果に基づき、必要な箇所の詳細な目視及び打音検査
山岳トンネルひび割れ測定	片倉・下永谷・吉田町トンネル	ひび割れ幅の測定、追跡調査
通風口等検査	通風口11号、換気塔（立坑）、消防隊進入口、変電所	ロープワークによる詳細な目視及び打音検査
高架支承部検査	1号線　和泉川橋梁・境川橋梁	高所作業車等を用いた支承部の目視検査
高架橋衝突防止桁検査	1・3号線　湘南台～あざみ野	高所作業車等を用いた衝突防止桁の近接検査

※全般検査計画表

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
	2年契約		2年契約		2年契約		2年契約		2年契約	
■通常全般検査Ⅰ										
1号線（関内～湘南台間）		●		●		●		●		●
3号線（あざみ野～関内間）	●		●		●		●		●	
4号線（中山～日吉間）	●		●		●		●		●	
■特別全般検査										
1号線（関内～湘南台間）										
3号線（あざみ野～関内間）										
4号線（中山～日吉間）					●	●				
■通常全般検査Ⅱ										
1号線（関内～湘南台間）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3号線（あざみ野～関内間）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4号線（中山～日吉間）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※個別検査計画表　（箇所）

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
	2年契約		2年契約		2年契約		2年契約		2年契約	
■山岳トンネルひび割れ測定										
1・3号線（あざみ野～湘南台間）	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
■通風口等検査										
1号線（関内～上永谷間）	2	6	3	3	4	2	5	2	5	2
■高架支承部検査										
1号線（港南中央～湘南台間）				2	1	1	1	1		
3号線（北新横浜～あざみ野間）									2	2
4号線（センター北～中山間）										
■高架橋衝突防止桁検査										
1・3号線（あざみ野～湘南台間）					10				10	

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

・鉄道構造物等維持管理標準（国土交通省鉄道局）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	87,000	[redacted]				895,917
債務負担設定		[redacted]		[redacted]		434,448

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予 算 科 目			担　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：施設課
節・細節：32　諸構築物及び諸設備修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
4　線路内測量委託	[redacted]

（1　事業目的・内容）

・水準測量

地下鉄構造物の鉛直方向の経時変化を把握するため、高速鉄道構内に設置してある水準点の測定を順次行います。

・内空断面測定

トンネルの変形の有無・進行を把握するため、トンネルの内空断面を測定します。

測量計画

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
■水準測量							
③北新横浜～岸根公園間（特1）					●		
①③横浜～長者町間（特2）		●		●		●	
③あざみ野～北新横浜間（A）			●				
③岸根公園～横浜間（B）				●			
①長者町間～戸塚間（C）	●						●
①戸塚～湘南台間（D）	●						
④中山～日吉間（E）	●						
■内空測定							
③大江橋シールド					●		
③平沼町シールド	●				●		
③鶴見川シールド		●					●
①宮元町シールド	工事中のため工事内で測定する				●		
①関ノ下シールド	●					●	
④駒林シールド	●					●	
④高田西シールド	●					●	
③片倉山岳トンネル		●					●
①下永谷山岳トンネル	●					●	

（2　前年度から変更・見直しした点）

前年度の計画に基づき令和8年度の業務を行っていきます。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	16,000	[redacted]				91,236
債務負担設定						

様　　式　　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：施設課
節・細節：32　諸構築物及び諸設備修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

【　事　業　内　容　】	8年度予算額
5　　漏水補修及びその他工事	[redacted]

（1　事業目的・内容）

土木構造物や軌道構造物の劣化因子となる漏水の対策として、これまでに受け樋の設置を行ってきましたが、経年劣化による受け樋自体の落下による列車運行への影響を事前に防止する必要があります。

そのため、設置後概ね15年を経過した受け樋については、計画的に更新することとし、新規漏水部については、漏水箇所の区間や位置、漏水量などにより受け樋設置と止水注入を使い分けて対処します。

また、横浜～上永谷間を中心として、中間杭跡などの小規模な浮き及び剥離を生じている箇所について、コンクリート片の剥落による列車運行への影響を事前に防止する必要があります。

そのため、浮き及び剥離箇所を抽出し、計画的に斫り落とし及び防錆処理を行います。

受け樋設置工

止水注入工

中間杭跡

（2　前年度から変更・見直しした点）

昨年度までは、漏水補修工事とモルタル撤去工事を分割して事業計画書を作成していましたが、作業効率を考慮し毎年度1つの工事として発注しているため、1つの事業としました。

令和8年度の要求金額は、令和7年度契約の漏水補修及びその他工事その2の支払いに充てます。

また、令和8年度末に契約の同工事の支払いのため、債務負担を設定します。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	91,348	[redacted]				
債務負担設定	96,422	[redacted]				

様　　式　　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：施設課
節・細節：32　諸構築物及び諸設備修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

【事 業 内 容】	8年度予算額
6　　局所有排水管調査	[redacted]

（1　事業目的・内容）

地下部の駅施設やポンプ室等から排出される汚水・排水は、地下から地上へポンプアップされたのち、高架部では樋で地上へ導水・集水したのち、歩道下や道路下に敷設された局所有の排水管により公共下水管へ排出されます。

この局所有排水管は開業時から定期的な点検調査や補修工事を行っておらず、破損や管ズレなどが生じることにより管内に土砂が流入し、地盤の空洞化による道路陥没を引き起こすリスクとなります。令和元年度に高島町駅付近の局所有排水管の破損を確認し緊急工事を実施したことを期に、令和2年度及び4年度に一部の局所有排水管の調査を実施したところ、管ズレに伴う空洞が確認され緊急修繕を行い陥没の発生を未然に防ぐことができました。

引き続き、排水管の健全性と管内の状態の把握を進めるため、計画的に調査を実施します。また、未確認の道路工事及び下水工事により排水管やマンホールを改変されている場合があるため、これらについても同様に調査を進めます。

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	10,560	[redacted]				[redacted]
債務負担設定						

様　　式　　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：施設課
節・細節：32　諸構築物及び諸設備修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

【　事　業　内　容　】	8年度予算額
7　　施設改修工事	[redacted]

（1　事業目的・内容）

老朽化している当局施設について改修します。

① 歩道上にある地下鉄通風口が老朽化により劣化しており、通風口蓋の受枠には凹凸ができ段差ができています。
また、グレーチング蓋の目が粗く、履物がはまる等の危険があることから、受枠を補修しグレーチング蓋を目の細かいものに交換します。

② 老朽化などにより傷んでいる門扉・フェンスについて更新します。

③ 高島町変電所に現在仮設の伸縮門扉が設置されており、強風等により歩道にはみ出す危険があることから、伸縮門扉を更新いたします。

④ 横浜市高速鉄道1号線踊場駅第3番出入口について、外構部に空洞が発生しており、空洞の範囲及び原因について調査を行います。
調査の結果から、空洞の充填、フェンスの改修、排水設備の補修等の設計及び工事を行います。

⑤ 大通り公園内に点在する通風口建屋について、老朽化が及び落書き被害があることから撤去を行い、フェンスを新設いたします。
また、建屋内部の通風口のグレーチング蓋を目が粗いものから目の細かいものへ交換いたします。

①通風口（歩道

②門扉

③伸縮門扉

④踊場駅　第3番出入口

⑤通風口建屋

（2　前年度から変更・見直しした点）

現場状況から踊場駅第3番出入口は調査・設計委託が必要であるため、追加しました。
大通り公園内の調整状況から通風口建屋の改修は設計委託が必要であるため、追加しました。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	35,640	[redacted]				
債務負担設定	20,000	[redacted]				[redacted]

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：施設課
節・細節：32　諸構築物及び諸設備修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

【　事　業　内　容　】	8年度予算額
8　　鋼構造物補修工事	[redacted]

（1　事業目的・内容）

鋼構造物において、鋼材の腐食が進行しているため、補修工事を行います。

補修箇所　①高島町駅ホーム下支柱（H鋼）
　　　　　②沢渡換気塔の整風板

▲高島町駅ホーム下支柱（H鋼）腐食状況

▲沢渡換気塔の整風板腐食状況

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

現場の意見を受け、令和5年度構築補修工事設計委託にて調査・設計を行いました。
発注は令和7年度、施工は令和8年度とします。

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費		[redacted]				[redacted]
債務負担設定	[redacted]					

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：施設課
節・細節：32　諸構築物及び諸設備修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

	8年度　A	7年度　B	増△減(A-B)
予　算　額	165,421	140,208	25,213

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
1　諸構築修理	[redacted]

（1　事業目的・内容）

地下鉄の安全運行の確保やお客様向けサービス施設等の維持を目的として、トンネル内の補修、敷地内のフェンス修理及び舗装修理など、土木構造物の修理を緊急に行います。

（2　前年度から変更・見直しした点）

開業から15年が経過し過去5年間を平均して年間1件の緊急修繕が発生しています。

令和7年度も上半期で1件の緊急修繕を実施しており、今後、施設等の経年劣化に伴う突発的な修繕が見込まれることから、年間2件分の修繕に対応できるように予算を要求します。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：施設課
節・細節：32　諸構築物及び諸設備修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

【　事　業　内　容　】	8年度予算額
2　　構造物検査委託	[redacted]

（1　事業目的・内容）

・地下鉄全線の構造物の変状を調査し、劣化進行の予測及び健全度を把握するために、国土交通省通達に基づき2年に1回行うこととされる通常全般検査Ⅰ（目視検査）を実施します。

・前回実施した通常全般検査Ⅰの結果、詳細な検査が必要とされた構造物に対して、精度の高い健全度の判定を行うことを目的として、通常全般検査Ⅱ（目視・打音検査）を毎年実施します。

・入念な目視（近接目視）及び打音検査で健全度判定の精度を高めることを目的として、国土交通省通達に基づき20年に1回行うこととされる特別全般検査を実施します。

※令和8年度対象箇所

検査項目	検査対象	検査方法
通常全般検査Ⅰ	4号線　日吉～中山	十分な照明を用いた徒歩による目視検査
通常全般検査Ⅱ	4号線　日吉～中山	前回実施した通常全般検査Ⅰの結果に基づき、必要な箇所の詳細な目視及び打音検査
特別全般検査	4号線　日吉～中山	近接による入念な目視及び打音検査

※全般検査計画表

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
	2年契約		2年契約		2年契約		2年契約		2年契約	
■通常全般検査Ⅰ										
1号線（関内～湘南台間）		●		●		●		●		●
3号線（あざみ野～関内間）	●		●		●		●		●	
4号線（中山～日吉間）	●		●		●		●		●	
■特別全般検査										
1号線（関内～湘南台間）										
3号線（あざみ野～関内間）										
4号線（中山～日吉間）					●	●				
■通常全般検査Ⅱ										
1号線（関内～湘南台間）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3号線（あざみ野～関内間）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4号線（中山～日吉間）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※個別検査計画表　（箇所）

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
	2年契約		2年契約		2年契約		2年契約		2年契約	
■高架支承部検査										
1号線（港南中央～湘南台間）				2	1	1	1	1		
3号線（北新横浜～あざみ野間）									2	2
4号線（センター北～中山間）										

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

・鉄道構造物等維持管理標準（国土交通省鉄道局）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	11,000	[redacted]	[redacted]	[redacted]	[redacted]	336,599
債務負担設定		[redacted]		[redacted]		156,101

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　当
款: 02　高速鉄道事業費	項: 01　営業費用	目: 10　線路保存費	所属: 施設課
節・細節: 32　諸構築物及び諸設備修繕費			課長名: 鶴岡　正宏

（単位:千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
3　漏水補修工事	[redacted]

（1　事業目的・内容）

土木構造物や軌道構造物の劣化因子となる漏水の対策として、これまでに受け樋の設置を行ってきましたが、経年劣化による受け樋自体の落下による列車運行への影響を事前に防止する必要があります。

そのため、設置後概ね15年を経過した受け樋を対象として、計画的に更新することとします。

また、新規漏水部については、漏水箇所の区間や位置、漏水量などにより受け樋設置と止水注入を使い分けて対処します。

受け樋設置工

止水注入工

（2　前年度から変更・見直しした点）

令和8年度の要求金額は、令和7年度契約の漏水補修及びその他工事その2の支払いに充当します。
また、令和8年度末に契約の同工事の支払いのため、債務負担を設定します。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	29,208	[redacted]				
債務負担設定	23,493	[redacted]				

様　　式　　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：施設課
節・細節：32　諸構築物及び諸設備修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

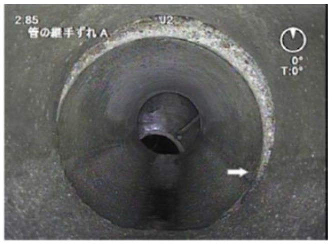
【事　業　内　容】	8年度予算額
4　　局所有排水管調査	[redacted]

（1　事業目的・内容）

地下部の駅施設やポンプ室等から排出される汚水・排水は、地下から地上へポンプアップされたのち、高架部では樋で地上へ導水・集水したのち、歩道下や道路下に敷設された局所有の排水管により公共下水管へ排出されます。

この局所有排水管は開業時から定期的な点検調査や補修工事を行っておらず、破損や管ズレなどが生じることにより管内に土砂が流入し、地盤の空洞化による道路陥没を引き起こすリスクとなります。令和元年度に高島町駅付近の局所有排水管の破損を確認し緊急工事を実施したことを期に、令和2年度及び4年度に一部の局所有排水管の調査を実施したところ、管ズレに伴う空洞が確認され緊急修繕を行い陥没の発生を未然に防ぐことができました。

引き続き、排水管の健全性と管内の状態の把握を進めるため、計画的に調査を実施します。また、未確認の道路工事及び下水工事によって排水管やマンホールを改変されている場合もあるため、これらについても同様に調査を進めます。



（2　前年度から変更・見直しした点）

令和8年度にブルーラインでの調査を終えるため、令和8年度からグリーンラインの調査に着手します。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費		[redacted]	[redacted]	[redacted]		[redacted]
債務負担設定						

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

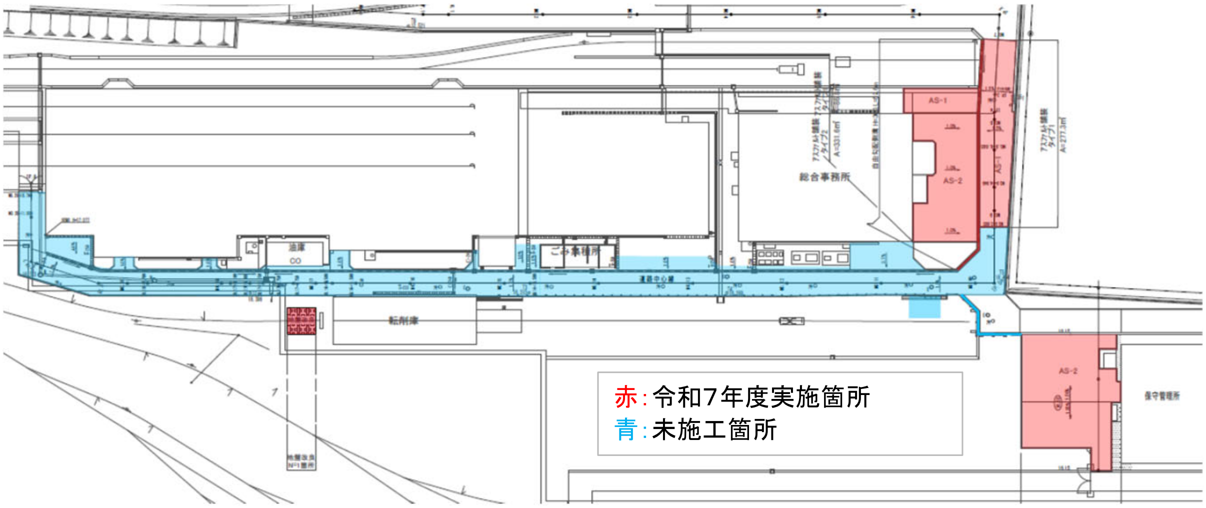
予　算　科　目			担　　当
款：02 高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：施設課
節・細節：32 諸構築物及び諸設備修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

【 事　業　内　容 】	8年度予算額
5　　川和車両基地敷地内整備	[redacted]

（1　事業目的・内容）

市営地下鉄4号線開業以来、川和車両基地内では不同沈下が進行し続けています。
それによって構内道路や排水溝に不陸が生じ、フォークリフトやアントの安全な通行や、構内の適切な排水が確保されなくなっています。
令和5年度に実施した、現状の基地内のGL(グラウンドレベル)やインバート高さの測量及びそれらを適切な勾配に再整備する設計に基づき施行し、それらの解消を図ります。



（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	100,000	[redacted]	[redacted]			[redacted]
債務負担設定		[redacted]				[redacted]

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：資産活用課
節・細節：33　建物修繕費			課長名：星野　尊

（単位：千円）

	8年度　A	7年度　B	増△減(A-B)
予　算　額	28,268	11,300	16,968

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

（単位：千円）

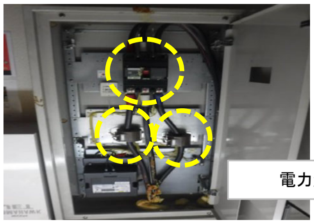
【事　業　内　容】	8年度予算額
1　高速鉄道事業会計店舗施設等修繕費	14,573

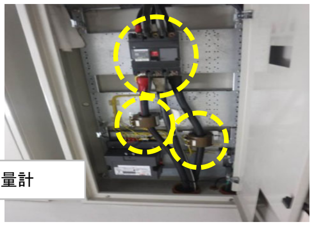
（1　事業目的・内容）

1　店舗施設等 突発的修繕・漏水対応費
　駅や高架下などに設置している店舗等（令和7年9月時点で75店舗）において、各店舗の営業や運営に支障をきたさないよう、修繕費を確保し、突発的に発生する修繕や漏水対応等に備えます。
　近年、店舗の増加・老朽化に伴い、機器の故障、漏水等が多発しているため、昨年度より増額します。

2　店舗用設備更新費
　店舗等の機能維持に必要となる定期的な設備更新について、実施します。

①電力量計（8台）更新（センター北駅構内店舗）
　メーターの有効期限は2026年7月（7台）、8月（1台）までとなっているため、計量法からも有効期限までに交換工事を実施します。





（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　　式　　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：資産活用課
節・細節：33　建物修繕費			課長名：星野　尊

（単位：千円）

【　事　業　内　容　】	8年度予算額
2　新横浜交通ビル建物維持管理修繕費	13,695

（1　事業目的・内容）

1　突発的修繕対応費

新横浜交通ビル（以下「交通ビル」という。）は、当局と横浜交通開発株式会社で区分所有をしている建物で、現在地上１階から6階部分を外部事業者にテナント貸付しています。

交通ビルは、現在当局所有部分が築42年(昭和58年築)、交通開発所有部分が築37年(昭和63年築)を経過しており、経年劣化による設備等の故障や事故により、交通ビルの入居テナントの営業に支障する恐れがあるため、突発的な設備の故障などに対応できるようにします。

工事の施工については、交通ビルの公有財産賃貸借契約に基づき横浜交通開発株式会社が行い、費用負担については、「建物維持管理・改修工事に関する覚書の一部を変更する覚書」の費用負担割合に基づき負担します。

2　設備更新費

交通ビルの機能維持に必要となる定期的な設備更新について、実施します。

① 地下2階湧水ポンプ盤交換
官庁営繕耐用年数が10年のところ、設置から45年経過しているため、更新します。

② 地下2階汚水ポンプ盤交換
官庁営繕耐用年数が10年のところ、設置から45年経過しているため、更新します。

③ 地下2階汚水槽交換
官庁営繕耐用年数が25年のところ、設置から45年経過しているため、更新します。

④屋上消火栓補助水槽交換
官庁営繕耐用年数が20年のところ、設置から38年経過しているため、更新します。

⑤ 地下1階消火水槽交換
官庁営繕耐用年数が20年のところ、設置から45年経過しているため、更新します。

湧水ポンプ盤・汚水ポンプ盤

地下２階汚水槽

屋上消火栓補助水槽

地下１階消火水槽

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　　式　　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：建築課
節・細節：33　建物修繕費			課長名：金久　治夫

（単位：千円）

	8年度　A	7年度　B	増△減(A-B)
予　　算　　額	1,153,824	1,034,074	119,750

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

（単位：千円）

【 事　業　内　容 】	8年度予算額
1　　材料補充事業（営繕分）	1,484

（1　事業目的・内容）

ブルーラインでの直営修理作業に必要な材料の補充をし、機械設備及び建築施設等の機能を維持します。
【主な補充材料】
漏水対策シート・塗料類・接着剤・点検口・シーリング材・建具部品等

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位：千円）

【 事　業　内　容 】	8年度予算額
2　　材料補充事業（機械分）	1,850

（1　事業目的・内容）

ブルーライン駅・車両基地等で発生した設備故障に対し、迅速な復旧作業を行うための直営修理に必要な設備材料を補充し、各設備の機能を回復し、お客様サービスの低下を防止します。
また、消火栓ホースの耐圧試験の代替として、ホースを購入します。

※購入機材：お客様トイレ用衛生器具類・送風機用Vベルト・制御用電気部品・消火栓ホース等

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：建築課
節・細節：33　建物修繕費			課長名：金久　治夫

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
3　駅施設等建築修繕工事	[redacted]

（1　事業目的・内容）

【駅施設等建築修繕工事（ゼロ市工事）】
ブルーライン地下鉄各施設（32駅・18変電所・2車両基地）で発生する突発的な故障の緊急修理を行います。

【駅施設等修理（1件修理）】
ブルーライン地下鉄各施設（32駅・18変電所・2車両基地）で発生する工事発注未満の小規模な修理を行います。

（2　前年度から変更・見直しした点）

1件修理の工事量が増加傾向にあるため、実情に即した予算で計上しました。

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	59,124	[redacted]	[redacted]			[redacted]
債務負担設定	[redacted]	[redacted]				[redacted]

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
4　高所サイン広告枠点検及びサイン等作成設置業務委託	[redacted]

（1　事業目的・内容）

階段の上部や出入口上屋などの高所に設置している案内サインや広告枠については、落下等した場合には大きな事故につながるおそれがあります。高所での点検は足場等の設置が必要なことから直営での実施が困難なため、外注にて委託します。
駅構内の案内サインについて、旅客サービス維持を目的とし、記載内容の変更や不良箇所の貼り替え等に速やかに対応するため、案内サインの製作、改修の業務委託を行います。

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

令和8年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	目：10 線路保存費	所属：建築課
節・細節：33 建物修繕費			課長名：金久 治夫

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
5　漏水受樋取付工事（ゼロ市工事）	[redacted]

（1 事業目的・内容）

地下鉄の地下躯体や地上高架下部等では、漏水が発生すると接客障害や重要機器類の故障など営業事故に繋がる恐れがあることから、緊急対応として漏水受樋の取付工事を実施します。年度当初に予定数量及び単価を定めた契約を行います。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

（4 年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	38,868	[redacted]	[redacted]			[redacted]
債務負担設定	[redacted]	[redacted]				[redacted]

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
6　竪排水管清掃業務委託	[redacted]

（1 事業目的・内容）

ブルーライン地下鉄各施設には、土木構築からの漏水やその他排水（湧水等）を処理するための竪排水管が設置されていますが、当該排水の水質や異物等により管の閉塞が進行した場合、駅施設への漏水等の原因となるだけでなく、溜まり水により異臭・蚊等が発生し、お客様や駅設備に対し影響を及ぼします。

このため、特殊清掃機具等を使用した管の詰まり除去や、側溝等の清掃を行うことで、適切な排水機能を維持し、お客様や駅施設への障害の低減を図ります。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

様　　式　　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：建築課
節・細節：33　建物修繕費			課長名：金久　治夫

（単位：千円）

【 事　業　内　容 】	8年度予算額
7　　駅施設シャッター等保守点検業務委託	[redacted]

（1　事業目的・内容）

ブルーライン各施設（32駅・8変電所・2車両基地）の防災シャッター・防火戸・電動トップライト・排煙窓等は、法令により、特に正常な動作が必要とされており、これらの故障を未然に防ぐ目的から定期的な保守点検を委託により実施します。

また、当該出入口に設置されている管理シャッターについても施設開放・閉鎖機能を保持する必要があるため、同様の点検を実施します。

さらに、危害防止装置用蓄電池の交換を行います。

令和8年度対象施設は上永谷駅、港南中央駅、上大岡駅、弘明寺駅、蒔田駅、吉野町駅、阪東橋駅、伊勢佐木長者町駅です。

〇数量内訳

項　　目	点検回数	令和8年度予定数量
シャッター	年1回	564か所
防水シャッター	年1回	3か所
電動トップライト	年1回	0か所
防火戸	年1回	86か所
垂れ壁	年1回	95か所
排煙オペレーター	年1回	202か所

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位：千円）

【 事　業　内　容 】	8年度予算額
8　　自動ドア保守点検業務委託	[redacted]

（1　事業目的・内容）

ブルーライン27施設70か所の自動ドアについて、正常な動作を確保し、お客様の挟み込みや閉じ込め等のトラブルを未然に防ぐため、保守点検の委託を行います。

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 建築課
節・細節: 33 建物修繕費			課長名: 金久 治夫

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
9　交通局施設保守管理業務委託	[redacted]

(1 事業目的・内容)

ブルーライン地下鉄各施設(32駅・18変電所・2車両基地)で発生する突発的な緊急を要する施設修繕、漏水等が発生した場合に迅速に処置を行うため、365日24時間体制でコールセンター業務(電話対応及び現地での一次対応)を行います。

(2 前年度から変更・見直しした点)

近年の出動回数の増加に伴い、予算を増額した。

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

(単位:千円)

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
10　交通局建築物点検業務委託	[redacted]

(1 事業目的・内容)

ブルーライン地下鉄各施設(32駅・2車両基地)において、建築物の点検(3年に1回)を行います。
(建築基準法12条点検を含む。設備点検を除く。)
令和8年度は以下の施設の点検を行います。

新羽駅、仲町台駅、センター南駅、中川駅、あざみ野駅(センター北駅はグリーンラインで計上)

新羽庚申堀倉庫

(2 前年度から変更・見直しした点)

(3 根拠法令・規程、現場の意見等)

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予 算 科 目			担 当
款：02 高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：建築課
節・細節：33　建物修繕費			課長名：金久　治夫

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
11　駅施設等屋根清掃業務委託	[redacted]

（1　事業目的・内容）

本業務は、変電所、基地等の地下鉄施設や地上部駅舎、各駅出入口等の屋上部について清掃を行うものです。この清掃において、当該部分の排水溝等の塵埃・枯葉・ゴミ等を除去することで、建物屋上部の防水機能の保全が図れるだけでなく、排水障害に起因する重要施設内部や接客部分への漏水を軽減し、地下鉄設備の保護や駅機能の確保を図ります。

［委託内容］
- ・屋上部、屋根部清掃
- ・屋上部、屋根部除草
- ・除草部薬剤散布
- ・ゴミ等運搬
- ・処分

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
12　センター南駅外壁補修	[redacted]

（1　事業目的・内容）

センター南駅の外壁補修工事を平成23年度～28年度に行ってから10年経過するため、外壁（タイル）の調査及び補修を行います。
また、ホームで鳩の飛来によりお客様への影響が生じているため、鳩除け対策を行います。

	R7	R8	R9
センター南駅 工事	R7～R8　工事	R7～R8　工事	

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	[redacted]	[redacted]				[redacted]
債務負担設定	[redacted]					[redacted]

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：建築課
節・細節：33　建物修繕費			課長名：金久　治夫

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
13　駅諸室改修その他工事	[redacted]

（1　事業目的・内容）

ブルーラインで発生している不具合について、建築修繕工事で対応できない規模のものについて、設計・工事発注にて対応します。

【令和8年度】
工事：阪東橋駅（漏水対策）、新横浜駅（壁面改修）、上大岡駅（漏水対策）、踊場変電所（騒音対策）ほか
設計：立場駅（外構タイル改修）、上永谷変電所（外壁修繕）ほか

立場駅外構

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：建築課
節・細節：33　建物修繕費			課長名：金久　治夫

（単位：千円）

【事　業　内　容】	8年度予算額
14　最戸変電所・下飯田変電所外壁等補修工事	[redacted]

（1　事業目的・内容）

最戸変電所の外壁、屋上防水、建具、シャッター等が劣化しているため、補修及び更新を行います。
また、下飯田変電所の給排気用ガラリが腐食しているため、更新を行います。

	R7	R8	R9
最戸変電所 下飯田変電所 設計	R7設計		
最戸変電所 下飯田変電所 工事		R8　工事	

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	4,158	[redacted]				[redacted]
債務負担設定						

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款：02 高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：建築課
節・細節：33　建物修繕費			課長名：金久　治夫

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
15　点検口・ポスター枠調査委託	[redacted]

（1　事業目的・内容）

市営地下鉄駅の天井点検口とポスター枠の落下を防ぐことを目的に、取付状況の調査及び取付不良箇所の補強等を行います。

【点検口取付状況】

【ポスター枠】

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	目：10 線路保存費	所属：建築課
節・細節：33 建物修繕費			課長名：金久 治夫

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
16 昇降機保守委託事業	[redacted]

（1 事業目的・内容）

ブルーライン各駅等に設置しているエレベーター・エスカレーターを整備要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、昇降機の機能を常に良好な状態に維持します。

なお、昇降機保守点検は、故障発生の際にも即日復旧対応を可能とするフルメンテナンス契約（定期点検のほか補修・緊急対応を含む）とし、お客様へのご不便を軽減させます。

○内訳

エレベーター		エスカレーター	
BL32駅＋2基地エレベーター点検保守（PCB対応含む）・清掃	80台	BL27駅エスカレーター点検保守・清掃	130台

○契約年表（3か年契約）

	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
新羽駅ほか22駅 立場駅ほか2駅 中川駅	3年契約				3年契約	
関内駅ほか7駅 センター南駅ほか9か所 下飯田駅ほか3か所	3年計画	3年契約			3年契約	
阪東橋駅ほか3か所 北新横浜駅ほか1駅	3年計画			3年契約		3年計画
エスカレーター清掃	1年契約	1年契約	1年契約	1年契約	1年契約	
PCB処分			1年契約	1年契約	1年契約	

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

（4 年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	208,811	[redacted]	[redacted]	[redacted]		[redacted]
債務負担設定	32,737	[redacted]				[redacted]

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：建築課
節・細節：33　建物修繕費			課長名：金久　治夫

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
17　排水槽その他清掃業務委託事業	[redacted]

（1　事業目的・内容）

ブルーライン各駅等に設置している排水槽・汚水槽・受水槽・中水槽を、整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い槽清掃及び保守点検を行い、槽の衛生的環境を良好な状態に維持します。

内訳

委託件名	設備数	清掃回数
排水槽清掃その他清掃業務委託	59か所	排水槽清掃　5か所（1回/年） 汚水槽清掃 43か所（2～6回/年） 中水槽清掃 11か所（1回/年・1回/3年）
受水槽清掃業務委託	9か所	受水槽清掃　9か所（1回/年）※

※BLGL共有　センター南駅・センター北駅

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
18　高速鉄道機械設備等保守委託事業	[redacted]

（1　事業目的・内容）

ブルーライン各駅等に設置している換気・空調設備、給排水給湯設備等について、定期保守点検を実施し、各設備の機能を常に良好かつ適法状態に維持管理します。

設備種別	か所数	主な設備及び点検周期
空調設備	34か所	居室系 年2～4回 券売機室系 年4回 駅冷房 年4回＋冷凍機運転監視
換気設備	34か所	送排風機 年2～3回 フィルター 年1回 （交換・収集運搬・処分）
給排水・給湯設備	35か所	電気温水器、排水ポンプ年1～2回
設備遠隔操作システム	10か所	駅監視盤（内蔵サブPC）・リモート盤、遠隔ホストPC年1回

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：建築課
節・細節：33　建物修繕費			課長名：金久　治夫

（単位：千円）

【　事　業　内　容　】	8年度予算額
19　防災設備保守委託事業	[redacted]

（1　事業目的・内容）

ブルーライン各駅等に設置している屋内消火栓・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ・排煙等を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、防災設備の機能を常に良好な状態を保ち、万一の火災が発生した場合、確実に作動するよう維持します。

項目	点検内容	点検頻度	箇所
防災設備	屋内外消火栓、スプリンクラー、連結送水管、消火器、泡消火、CO2消火、粉末消火、排煙点検	半年	34か所
	連動試験、各種放水試験	1年	
	消火栓ホース・連結送水管の耐圧試験	3年	
消火栓ホースの収集運搬	屋内・屋外消火栓ホースの収集運搬処分	−	3～4か所

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位：千円）

【　事　業　内　容　】	8年度予算額
20　排水ポンプほか重要設備保守委託事業	[redacted]

（1　事業目的・内容）

ブルーライン各駅及び車両基地に設置している、トンネル排水設備や信号機器室空調機等、列車運行に支障する恐れのある重要設備の機能を常時良好な状態に維持管理し、地下鉄の定時運行を確保します。

〇内訳

設備種別	設備数	主な設備及び点検周期
重要設備	46か所	トンネル排水・汚水・雑排水ポンプ：年２回、月１回 信号機器室系空調機：年４回

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01　営業費用	目: 10　線路保存費	所属: 建築課
節・細節: 33　建物修繕費			課長名: 金久　治夫

（単位:千円）

【事業内容】	8年度予算額
21　除害施設保守委託事業	[redacted]

（1　事業目的・内容）

市営地下鉄車両基地に設置されている除害施設（廃液処理装置）であり、工場内排水を横浜市下水道条例の水質基準に適合させるとともに、当該施設の機能維持を十分に発揮させるため保守点検を行います。

委託件名	履行場所
1　除害施設保守点検業務委託	上永谷車両基地修繕工場、上永谷車両基地検車区、新羽車両基地
2　除害施設廃液水槽清掃業務委託	上永谷車両基地修繕工場、上永谷車両基地検車区、新羽車両基地
3　除害施設等汚泥処分業務委託	上永谷車両基地修繕工場、上永谷車両基地検車区、新羽車両基地

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位:千円）

【事業内容】	8年度予算額
22　風水害対策設備保守委託事業	[redacted]

（1　事業目的・内容）

ブルーライン各駅等に設置している特殊設備ほかその他設備を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い各設備の機能を常に良好な状態に維持します。

内訳

	設備数	主な設備及び点検周期
浸水防止機保守点検	44か所	上大岡から吉野町間通風口　年１回
鶴見川防水扉保守点検	２か所	新横浜から北新横浜間４門　年２回
気象観測装置保守点検	４駅	地震計、風向風速計、雨量計　年１回

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
浸水防止機保守点検				←		→
鶴見川防水扉保守点検		←		→		
気象観測装置保守点検			←		→	

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事業費	9,550	[redacted]	[redacted]	[redacted]		[redacted]
債務負担設定	8,300	[redacted]				[redacted]

様　　式　　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	目：10 線路保存費	所属：建築課
節・細節：33 建物修繕費			課長名：金久 治夫

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
23 修繕作業費	139,250

（1 事業目的・内容）

ブルーライン各駅等に設置しているポンプ類や空調機の故障、またお客さまトイレ等で発生した排水詰りを迅速に解消するための修繕作業を実施し、お客さまサービスの低下を最低限に防止します。

主な修繕内容
・空調機関係：電装部品類、Vベルト、パッキン等の磨耗部材の交換
・送風機関係：Vベルト、ベアリング等の磨耗部材の交換
・給排水関係：お客さまトイレ便器等の排水詰まりの復旧・衛生器具の交換・汚水ポンプの分解修理

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

様　　式　　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予 算 科 目			担　　　当
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	目：10 線路保存費	所属：建築課
節・細節：33 建物修繕費			課長名：金久 治夫

（単位：千円）

	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予　算　額	314,786	276,321	38,465

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
1　材料補充事業（営繕分）	188

（1 事業目的・内容）

グリーンラインでの直営修理作業に必要な材料の補充をし、機械設備及び建築施設等の機能を維持します。
【主な補充材料】
漏水対策シート・塗料類・接着剤・点検口・シーリング材・建具部品等

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
2　材料補充事業（機械分）	83

（1 事業目的・内容）

グリーンライン駅・車両基地等で発生した設備故障に対し、迅速な復旧作業を行うための直営修理に必要な設備材料を補充し、各設備の機能を回復し、お客様サービスの低下を防止します。

※購入機材：お客様トイレ用衛生器具類・送風機用Vベルト・制御用電気部品等

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担　　当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 建築課
節・細節: 33 建物修繕費			課長名: 金久 治夫

（単位:千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
3　駅施設等建築修繕工事	31,799

（1 事業目的・内容）

【駅施設等建築修繕工事（ゼロ市工事）】
グリーンライン地下鉄各施設（10駅・3変電所・1車両基地）で発生する突発的な故障の緊急修理を行います。

【駅施設等修理（1件修理）】
グリーンライン地下鉄各施設（10駅・3変電所・1車両基地）で発生する工事発注未満の小規模な修理を行います。

（2 前年度から変更・見直しした点）

1件修理の工事量が増加傾向にあるため、実情に即した予算で計上しました。

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

（4 年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	22,505	31,799	[redacted]			[redacted]
債務負担設定	17,607	[redacted]				[redacted]

（単位:千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
4　高所サイン広告枠点検及びサイン等作成設置業務委託	[redacted]

（1 事業目的・内容）

階段の上部や出入口上屋などの高所に設置している案内サインや広告枠については、落下等した場合には大きな事故につながるおそれがあります。高所での点検は足場等の設置が必要なことから直営での実施が困難なため、外注にて委託します。

駅構内の案内サインについて、旅客サービス維持を目的とし、記載内容の変更や不良箇所の貼り替え等に速やかに対応するため、案内サインの製作、改修の業務委託を行います。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

様　　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予 算 科 目			担　　当
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	目：10 線路保存費	所属：建築課
節・細節：33 建物修繕費			課長名：金久 治夫

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
5　漏水受樋取付工事（ゼロ市工事）	[redacted]

（1 事業目的・内容）

地下鉄の地下躯体や地上高架下部等では、漏水が発生すると接客障害や重要機器類の故障など営業事故に繋がるおそれがあることから、緊急対応として漏水受樋の取付工事を実施します。年度当初に予定数量及び単価を定めた契約を行います。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

（4 年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	26,300	[redacted]	[redacted]			[redacted]
債務負担設定	[redacted]	[redacted]				[redacted]

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
6　竪排水管清掃業務委託	[redacted]

（1 事業目的・内容）

グリーンライン地下鉄各施設には、土木構築からの漏水やその他排水（湧水等）を処理するための竪排水管が設置されていますが、当該排水の水質や異物等により管の閉塞が進行した場合、駅施設への漏水等の原因となるだけでなく、溜まり水により異臭・蚊等が発生し、お客様や駅設備に対し影響を及ぼします。

このため、特殊清掃機具等を使用した管の詰まり除去や、側溝等の清掃を行うことで、適切な排水機能を維持し、お客様や駅施設への障害の低減を図ります。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	目：10 線路保存費	所属：建築課
節・細節：33 建物修繕費			課長名：金久 治夫

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
7　駅施設シャッター等保守点検業務委託	[redacted]

（1 事業目的・内容）

グリーンライン各施設（8駅・1変電所・1車両基地）の防災シャッター・防火戸・電動トップライト・排煙窓等は、法令により、特に正常な動作が必要とされており、これらの故障を未然に防ぐ目的から定期的な保守点検を委託により実施します。

また、当該出入口に設置されている管理シャッターについても施設開放・閉鎖機能を保持する必要があるため、同様の点検を実施します。

○数量内訳

項　目	点検回数	令和8年度予定数量
シャッター	年1回	152か所
電動トップライト	年1回	2か所
防火戸	年1回	22か所
垂れ壁	年1回	12か所
排煙オペレーター	年1回	62か所

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
8　自動ドア保守点検業務委託	[redacted]

（1 事業目的・内容）

グリーンライン10施設25か所の自動ドアについて、正常な動作を確保し、お客様の挟み込みや閉じ込め等のトラブルを未然に防ぐため、保守点検の委託を行います。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	目：10 線路保存費	所属：建築課
節・細節：33 建物修繕費			課長名：金久 治夫

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
9　交通局施設保守管理業務委託	[redacted]

（1 事業目的・内容）

グリーンライン地下鉄各施設（10駅・1車両基地・3変電所）で発生する突発的な緊急を要する施設修繕、漏水等が発生した場合に迅速に処置を行うため、365日24時間体制でコールセンター業務（電話対応及び現地での一次対応）を行います。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
10　交通局建築物点検業務委託	[redacted]

（1 事業目的・内容）

グリーンライン地下鉄各施設（10駅・1車両基地）において、建築物の点検（3年に1回）を行います。
（建築基準法12条点検を含む。設備点検を除く。）
令和8年度は以下の施設の点検を行います。

中山駅、川和町駅、都筑ふれあいの丘駅、センター北駅、北山田駅、東山田駅、高田駅（センター南駅はブルーラインに計上）

川和車両基地

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

様　　式　　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予 算 科 目			担　　　当
款：02 高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：建築課
節・細節：33　建物修繕費			課長名：金久　治夫

（単位：千円）

【 事　業　内　容 】	8年度予算額
11　駅施設等屋根清掃業務委託	[redacted]

（1　事業目的・内容）

本業務は、変電所、基地等の地下鉄施設や地上部駅舎、各駅出入口等の屋上部について清掃を行うものです。この清掃において、当該部分の排水溝等の塵埃・枯葉・ゴミ等を除去することで、建物屋上部の防水機能の保全が図れるだけでなく、排水障害に起因する重要施設内部や接客部分への漏水を軽減し、地下鉄設備の保護や駅機能の確保を図ります。

［委託内容］
- 屋上部、屋根部清掃
- 屋上部、屋根部除草
- 除草部薬剤散布
- ゴミ等運搬
- 処分

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：建築課
節・細節：33　建物修繕費			課長名：金久　治夫

（単位：千円）

【 事　業　内　容 】	8年度予算額
12　　東山田駅壁面タイル他修繕工事	[redacted]

（1　事業目的・内容）

東山田駅コンコースの壁面タイルについて、剥落防止対策工事を行います。
また、ひび割れ・段差ができた床タイルを補修します。

	R7	R8	R9
東山田駅 工事	R7〜R8工事 →		

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	[redacted]	[redacted]				[redacted]
債務負担設定	[redacted]					[redacted]

様　　式　　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　　当
款：02 高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：建築課
節・細節：33　建物修繕費			課長名：金久　治夫

（単位：千円）

【　事　業　内　容　】	8年度予算額
13　駅諸室改修その他工事	[redacted]

（1　事業目的・内容）

グリーンラインで発生している不具合について、建築修繕工事で対応できない規模のものについて、設計・工事発注にて対応します。
令和8年度に設計を行い、令和9年度に工事を発注します。

【令和8年度】
設計：センター北駅（駅務諸室・コンコース改修）、高田駅（外壁塗装）　ほか

センター北駅トップライト修理

高田駅外壁塗装

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：建築課
節・細節：33　建物修繕費			課長名：金久　治夫

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
14　点検口・ポスター枠調査委託	[redacted]

（1　事業目的・内容）

市営地下鉄駅の天井点検口とポスター枠の落下を防ぐことを目的に、取付状況の調査及び取付不良箇所の補強等を行います。

【点検口取付状況】

【ポスター枠】

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　　式　　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：建築課
節・細節：33　建物修繕費			課長名：金久　治夫

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
15　昇降機保守委託事業	[redacted]

（1　事業目的・内容）

グリーンライン各駅等に設置しているエレベーター・エスカレーターを整備要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、昇降機の補修・緊急対応を含む）とし、お客様へのご不便を軽減させます。

内訳

エレベーター		エスカレーター	
項目	台数	項目	台数
GL10駅エレベーター点検保守	21	GL10駅エスカレーター点検保守・清掃	46

契約年表

	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
新羽駅ほか22駅	3年契約			3年契約	
エスカレーター清掃	1年契約	1年契約	1年契約	1年契約	1年契約
PCB	1年契約	1年契約	1年契約	1年契約	

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	83,733	[redacted]	[redacted]	[redacted]		[redacted]
債務負担設定		[redacted]				[redacted]

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：建築課
節・細節：33　建物修繕費			課長名：金久　治夫

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
16　排水槽その他清掃業務委託事業	[redacted]

（1　事業目的・内容）

グリーンライン各駅等に設置している排水槽・汚水槽・受水槽・中水槽を、整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い槽清掃及び保守点検を行い、槽の衛生的環境を良好な状態に維持します。

内訳

委託件名	設備数	清掃回数
排水槽清掃その他清掃業務委託	10か所	汚水槽清掃　10か所（1回/年）
受水槽清掃業務委託	2か所	受水槽清掃　2か所（1回/年）※

※BLGL共有　センター南駅・センター北駅

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
17　高速鉄道機械設備等保守委託事業	[redacted]

（1　事業目的・内容）

グリーンライン各駅等に設置している換気・空調設備、給排水給湯設備等について、定期保守点検を実施し、各設備の機能を常に良好かつ適法状態に維持管理します。

設備種別	か所数	主な設備及び点検周期
空調設備	11か所	居室系 年2～4回 券売機室系 年4回 駅冷房 年4回＋冷凍機運転監視
換気設備	11か所	送排風機 年2～3回 フィルター 年1回 （交換・収集運搬・処分）
給排水・給湯設備	9か所	電気温水器、排水ポンプ年1～2回
設備遠隔操作システム	1か所	駅監視盤（内蔵サブPC）・リモート盤、遠隔ホストPC年1回

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　　式　　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：建築課
節・細節：33　建物修繕費			課長名：金久　治夫

（単位：千円）

【　事　業　内　容　】	8年度予算額
18　　防災設備保守委託事業	[redacted]

（1　事業目的・内容）

グリーンライン各駅等に設置している屋内消火栓・スプリンクラー・排煙等を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い、防災設備の機能を常に良好な状態を保ち、万一の火災が発生した場合、確実に作動するよう維持します。

項目	点検内容	点検頻度	箇所
防災設備	屋内消火栓、スプリンクラー、連結送水管、消火器、粉末消火、排煙点検	半年	9か所
	連動試験、各種放水試験	1年	
	連結送水管の耐圧試験	3年	

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位：千円）

【　事　業　内　容　】	8年度予算額
19　　排水ポンプほか重要設備保守委託事業	[redacted]

（1　事業目的・内容）

グリーンライン各駅及び車両基地に設置している、トンネル排水設備や信号機器室空調機等、列車運行に支障する恐れのある重要設備の機能を常時良好な状態に維持管理し、地下鉄の定時運行を確保します。

○内訳

設備種別	設備数	主な設備及び点検周期
重要設備	11か所	トンネル排水・汚水・雑排水ポンプ　年２回、月１回 信号機器室系空調機　年４回

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	目：10 線路保存費	所属：建築課
節・細節：33 建物修繕費			課長名：金久 治夫

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
20　除害施設保守委託事業	[redacted]

（1 事業目的・内容）

市営地下鉄車両基地に設置されている除害施設（廃液処理装置）であり、工場内排水を横浜市下水道条例の水質基準に適合させるとともに、当該施設の機能維持を十分に発揮させるため保守点検を行います。

委託件名	履行場所
1 除害施設保守点検業務委託	川和車両基地
2 除害施設廃液水槽清掃業務委託	川和車両基地
3 除害施設等汚泥処分業務委託	川和車両基地

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
21　風水害対策設備保守委託事業	926

（1 事業目的・内容）

（保守点検）

グリーンライン各駅等に設置している特殊設備ほかその他設備を整備心得・要領及び関係法令・規則・条例等に従い保守点検を行い各設備の機能を常に良好な状態に維持します。

保守点検及び修理委託内訳

	設備数	主な設備及び点検周期
気象観測装置保守点検	１駅	地震計、風向風速計、雨量計 年１回

	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
気象観測装置保守点検	←	―	→		

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

（4 年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総額
事業費	900	926	1,593			3,419
債務負担設定	3,700					3,700

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担　当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 建築課
節・細節: 33 建物修繕費			課長名: 金久 治夫

（単位:千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
22 修繕作業費	35,696

（1 事業目的・内容）

グリーンライン各駅等に設置しているポンプ類や空調機の故障、またお客さまトイレ等で発生した排水詰りを迅速に解消するための修繕作業を実施し、お客さまサービスの低下を最低限に防止します。

主な修繕内容
・空調機関係:電装部品類、Vベルト、パッキン等の磨耗部材の交換
・送風機関係:Vベルト、ベアリング等の磨耗部材の交換
・給排水関係:お客さまトイレ便器等の排水詰まりの復旧・衛生器具の交換・汚水ポンプの分解修理

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 上永谷保守管理所
節・細節: 39 その他修繕費			課長名: 杉山 伸康

（単位：千円）

	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予算額	887	387	500

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
1　上永谷施設区庁用車　車検・法定点検	[redacted]

（1　事業目的・内容）

応急車及び庁用車の法令に基づく車両検査を行うものです。

・国土交通省令に基づく点検

車検及び法定点検　2台（応急車1台・庁用車1台）

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
2　上永谷施設区庁用車　修理費	400

（1　事業目的・内容）

庁用車を修理する費用。

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	目：10 線路保存費	所属：上永谷保守管理所
節・細節：39 その他修繕費			課長名：杉山 伸康

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
3　上永谷施設区洗濯機乾燥機 修理費	17

（1 事業目的・内容）

3～5年使用している洗濯機乾燥機の故障時に修理する費用。
洗濯機1台

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
4　上永谷車両基地構内通行区画線設置事業	[redacted]

（1 事業目的・内容）

車両通行による上永谷車両基地構内の事故防止のため、通行区画線及び速度制限を促すための工事費。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	目：10 線路保存費	所属：新羽保守管理所
節・細節：39 その他修繕費			課長名：玉城 博之

（単位：千円）

	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予　算　額	1,219	1,307	△ 88

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
1　自動車点検整備（施設区）	510

（1 事業目的・内容）

応急車の法令に基づく車両検査を行うものです。

国土交通省令に基づく点検

車　名	車検周期	6ヶ月点検	12ヶ月点検	車検	計
プロボックス400ゆ2814	1年	[redacted]			
キャラバン 800つ19	1年				
高所作業車 800そ5798	2年				
高所作業車クレーン部 デュトロ	毎年				[redacted]
合　計					510

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

国土交通省令に基づく点検

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
2　自動車修理（施設区）	50

（1 事業目的・内容）

庁用車の修理を行うものです。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予　算　科　目			担　　当
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	目：10 線路保存費	所属：新羽保守管理所
節・細節：39 その他修繕費			課長名：玉城 博之

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
3　ミニ地下鉄修理	48

（1 事業目的・内容）
交通局PRイベント等に使用するミニ地下鉄について、軽微な修理を行うものです。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
4　衣類乾燥機、洗濯機の修理（施設区）	10

（1 事業目的・内容）
衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理を行うものです。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
5　アセチレンボンベ、酸素ボンベ点検・充填	[redacted]

（1 事業目的・内容）
レール交換等の保守作業でガス切断を行うために必要なアセチレンボンベと酸素ボンベの点検・充填を行うものです。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）
ボンベの耐圧検査期限は5年のため点検は適宜行わなければならない。

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予算科目			担当
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	目：10 線路保存費	所属：新羽保守管理所
節・細節：39 その他修繕費			課長名：玉城 博之

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
6　自動車点検整備	358

（1 事業目的・内容）

応急車の法令に基づく車両検査を行うものです。

国土交通省令に基づく点検

車名	車検周期	6ヶ月点検	12ヶ月点検	車検	計
エブリィ 480て9602	2年	[redacted]			
キャラバンに変わる新車	2年				
ボンゴ 400ほ1572	1年				
合計					358

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

国土交通省令に基づく点検

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
7　自動車修理（設備区）	80

（1 事業目的・内容）

庁用車の修理を行うものです。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

様　　式　　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担　　当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 新羽保守管理所
節・細節: 39 その他修繕費			課長名: 玉城 博之

（単位:千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
8　機器類修理	95

（1 事業目的・内容）

機器類の修理を行うものです。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位:千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
9　衣類乾燥機、洗濯機等の修理（設備区）	10

（1 事業目的・内容）

衣類乾燥機、全自動洗濯機等の修理を行うものです。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担　当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 川和保守管理所
節・細節: 39 その他修繕費			課長名: 清水 一彦

（単位: 千円）

	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予　算　額	860	600	260

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

（単位: 千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
1　自動車点検整備・修理	760

（1 事業目的・内容）

庁用車について、法令に基づく車両検査や法定点検の実施及び故障修理に必要な費用
非常用発煙筒の更新とタイヤ交換
エブリィ車検該当年
保有庁用車
・アトラス（800そ7025）
・キャラバン（400み1270）
・エブリィ（480そ707）
・三菱ミニキャブ（新車）

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位: 千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
2　その他修理費	100

（1 事業目的・内容）

洗濯機や乾燥機の故障等対応

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

様　　式　　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：施設課
節・細節：39　その他修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

	8年度　A	7年度　B	増△減(A-B)
予　　算　　額	228,113	103,440	124,673

〇	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

（単位：千円）

【　事　業　内　容　】	8年度予算額
1　　工事用車両点検整備等	221,549

（1　事業目的・内容）

工事用車両の性能低下等は、重大な事故の原因となるほか、運転阻害を発生させる原因となるため、点検整備を行います。

・工事用車両分解整備（オーバーホール）：原則6年周期
・保守用車両修理及び改造：15tトロ及び作業台車の高圧ホース劣化による交換
・工事用車両及び機材運搬車年次点検整備（乙検）：年1回
・工事用車両ブレーキ調整：制輪子の厚さ及びブレーキストロークが規定値以下まで摩耗した後、随時交換
・工事用車両修理：突発的な故障時の修理に対応
・工事用車両クレーン自主点検：C型モーターカーのクレーンの自主点検
・分解整備は以下の予定表に従い行う。

OH：オーバーホール（分解整備）数字はその車両のオーバーホールの通算回数（〇数字は前回OHから経過年数）

種別	型番	R8までの使用年数		R5	R6	R7	R8	R9	R10
モーターカー A型	A-6	35	年				廃車予定		
	A-7	35	年			廃車予定			
	A-8	35	年		廃車予定				
	A-10	4	年	納車	②	③	④	⑤	OH1
	A-11	3	年		納車	②	③	④	⑤
	A-12	－	年			納車予定	②	③	④
モーターカー C型	C-5	20	年	⑥	OH3				更新予定
	C-7	16	年	①	②	③	④	OH3	
	C-8	15	年	③	④	⑤	OH2	①	②
	C-9	13	年	⑥	OH2	①	②	③	④
	C-10	9	年	OH1	①	②	③	④	OH2
	C-11	9	年	OH1	①	②	③	④	OH2
	C-12	6	年	④	⑤	OH1	①	②	③
	C-13	6	年	④	⑤	OH1	①	②	③
作業台車	No.7	16	年						
	No.8	13	年						
	No.9	11	年						
	No.10	10	年						
	No.11	8	年						
	No.12	8	年						
	No.13	5	年						
軌道清掃車（温水洗浄）	No.3	6	年						
道床清掃車	No.3	9	年						
ダンプトロ	D-10	29	年				OH		
	D-11	29	年				OH		
	D-12	29	年					OH	
レール運搬車	TR-4,5,6	12	年						
軌道検測車	B-Track	12	年	③	④	⑤	OH2	①	②
マルチプルタイタンパー	プラッサー	10	年	OH1	①	②	③	④	⑤

（2　前年度から変更・見直しした点）

機材運搬車年次点検整備（乙検）を追加

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　　額
事　　業　　費	101,075	221,549	[redacted]			710,624
債務負担設定						

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担当
款：02 高速鉄道事業費	項：01 営業費用	目：10 線路保存費	所属：施設課
節・細節：39 その他修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
2　自動車点検整備	770

（1　事業目的・内容）

フォークリフトの法定点検及び緊急修理を行うものです。
・厚生労働省に基づく検査
　特定自主検査　フォークリフト2台（上永谷、新羽保守管理所）
・フォークリフトの緊急修理費

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
3　その他機器点検整備	292

（1　事業目的・内容）

直営作業等で使用する動揺測定器や計測機器類の点検、整備、校正を行います。
・列車動揺測定器
・自動レール塗油装置
・その他測定機器調整

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　　式　　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予　算　科　目			担　　　当
款：02　高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：施設課
節・細節：39　その他修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

【　事　業　内　容　】	8年度予算額
4　　車両基地侵入防止対策システム保守業務委託（上永谷・新羽）	[redacted]

（1　事業目的・内容）

上永谷車両基地では、令和元年度から同2年度にかけ「車両基地侵入防止対策システム」を構築し運用しており、新羽車両基地についても令和8年度に車両基地侵入防止対策システムを拡張し、運用する予定です。

本システム運用にあたり、令和3年度から実施している「システム保守業務」について、令和8年度も引き続き委託します。

委託の主な内容は、以下のとおりです。

(1) 本システム関連の問合せ対応
当局担当者から本システムに関する仕様や不具合等に関する問合せがあった場合、受託者は電話、メール等で回答します。

(2) 障害一次切り分け
本システムに動作不良が生じた場合、受託者は、何が原因であるのか、障害の一次切り分けを行います。

(3) ソフトウェア動作不良対応
ソフトウェア等に問題があることが分かった場合、受託者は、オンサイト形式で、本システムを復旧します。

(4) ハードウェアの修理
ハードウェアの修理が必要な場合、受託者がその旨当局に通知します。
ハードウェアの修理は当局の別途手配となりますが、修理完了後の機器の再設定作業は、受託者が実施します。

(5) ハードウェア年次点検
ハードウェア（カメラ、センサーなど）に故障がないか点検を実施します。

（2　前年度から変更・見直しした点）

運用する車両基地の追加（新羽車両基地）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位：千円）

【　事　業　内　容　】	8年度予算額
5　　作業管理システム保守業務委託（1・3号線）	[redacted]

（1　事業目的・内容）

令和8年度に構築が完了し運用する予定の「作業管理システム」について、システムの保守業務を委託します。

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予算科目			担　当
款：02 高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：施設課
節・細節：39 その他修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

	8年度 A	7年度 B	増△減(A-B)
予　算　額	15,576	43,035	△ 27,459

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
1　工事用車両点検整備等	11,412

（1　事業目的・内容）

工事用車両の性能低下等は、重大な事故の原因となるほか、運転阻害を発生させる原因となるため、点検整備を行います。
・保守用車両修理及び改造：15tトロ及び作業台車の高圧ホース劣化による交換
・工事用車両及び機材運搬車年次点検整備（乙検）：年1回
・工事用車両ブレーキ調整：制輪子の厚さ及びブレーキストロークが規定値以下まで摩耗した後、随時交換
・工事用車両修理：突発的な故障時の修理に対応
・工事用車両クレーン自主点検：C型モーターカーのクレーンの自主点検

（2　前年度から変更・見直しした点）

機材運搬車年次点検整備（乙検）を追加

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（4　年次表）

	7年度予算	8年度予算	9年度予定	10年度予定	11年度以降	総　額
事　業　費	40,934	11,412	[redacted]	[redacted]	[redacted]	239,162
債務負担設定						

（単位：千円）

【事業内容】	8年度予算額
2　自動車点検整備	330

（1　事業目的・内容）

フォークリフトの法定点検及び緊急修理を行うものです。
・厚生労働省に基づく検査
　特定自主検査　フォークリフト1台（川和保守管理所）
・フォークリフトの緊急修理費

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　　式　　D

令和8年度　修繕費　事業計画書

予 算 科 目			担　　　当
款：02 高速鉄道事業費	項：01　営業費用	目：10　線路保存費	所属：施設課
節・細節：39 その他修繕費			課長名：鶴岡　正宏

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
3　　その他機器点検整備	2,000

（1　事業目的・内容）

直営作業等で使用する動揺測定器や計測機器類の点検、整備、校正を行います。
- ・列車動揺測定器
- ・摩擦調整材塗布装置
- ・自動塗油装置点検
- ・ギャップゲージ校正
- ・その他測定機器調整

（2　前年度から変更・見直しした点）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

（単位：千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
4　　車両基地侵入防止対策システム保守業務委託（川和）	[redacted]

（1　事業目的・内容）

上永谷車両基地では、令和元年度から同2年度にかけ「車両基地侵入防止対策システム」を構築し運用しており、川和車両基地についても令和8年度に車両基地侵入防止対策システムを拡張し、運用する予定です。

本システム運用にあたり、令和3年度から実施している「システム保守業務」について、令和8年度も引き続き委託します。

委託の主な内容は、以下のとおりです。

(1)　本システム関連の問合せ対応
当局担当者から本システムに関する仕様や不具合等に関する問合せがあった場合、受託者は電話、メール等で回答します。

(2)　障害一次切り分け
本システムに動作不良が生じた場合、受託者は、何が原因であるのか、障害の一次切り分けを行います。

(3)　ソフトウェア動作不良対応
ソフトウェア等に問題があることが分かった場合、受託者は、オンサイト形式で、本システムを復旧します。

(4)　ハードウェアの修理
ハードウェアの修理が必要な場合、受託者がその旨当局に通知します。
ハードウェアの修理は当局の別途手配となりますが、修理完了後の機器の再設定作業は、受託者が実施します。

(5)　ハードウェア年次点検
ハードウェア（カメラ、センサーなど）に故障がないか点検を実施します。

（2　前年度から変更・見直しした点）

運用する車両基地の追加（川和車両基地）

（3　根拠法令・規程、現場の意見等）

様　式　D

令和8年度 修繕費 事業計画書

予 算 科 目			担 当
款: 02 高速鉄道事業費	項: 01 営業費用	目: 10 線路保存費	所属: 施設課
節・細節: 39 その他修繕費			課長名: 鶴岡 正宏

（単位:千円）

【 事 業 内 容 】	8年度予算額
5　作業管理システム保守業務委託（4号線）	[redacted]

（1 事業目的・内容）

令和8年度に構築が完了し運用する予定の「作業管理システム」について、システムの保守業務を委託します。

（2 前年度から変更・見直しした点）

（3 根拠法令・規程、現場の意見等）

様 式 Ａ

令和8年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款：02 高速鉄道事業費　　項：01 営業費用 目：10 線路保存費	所属：　人事課 課長名：　田中 省吾

（単位：千円）

	8年度 A	7年度 B	増△減 A － B
予算額	3,956	5,138	△ 1,182

	ブルーライン
	グリーンライン
○	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
50 被服費	3,956	制服貸与（地下鉄保守技術員《施設区、設備区》）
合 計	3,956	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

令和8年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　　項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	所属: 人事課 課長名: 田中 省吾

（単位:千円）

	8年度 A	7年度 B	増△減 A － B
予算額	386	473	△ 87

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
63 委託料	386	空気環境測定（上永谷保守管理所、新羽保守管理所）ほか
合 計	386	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

令和8年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　　項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	所属: 人事課 課長名: 田中 省吾

（単位:千円）

	8年度 A	7年度 B	増△減 A － B
予算額	140	173	△ 33

	ブルーライン
〇	グリーンライン
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
63 委託料	140	空気環境測定（川和保守管理所）、身体機能検査（川和施設区）
合　　計	140	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

令和8年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	所属: 資産活用課 課長名: 星野 尊

(単位:千円)

	8年度 A	7年度 B	増△減 A － B
予算額	51	15	36

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

(1 科目別積算内容)

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
57 通信運搬費	11	旧牛久保厚生会館ケーブルネット使用料
68 保険料	40	旧牛久保厚生会館に係る市有物件災害共済会保険料及び施設課共済保険料
合 計	51	

(2 編成するにあたっての考え方)

(3 新規項目・主要事業等)

様 式 A

令和8年度　経費　事業計画書

予　算　科　目	担当
款：02 高速鉄道事業費　　項：01 営業費用	所属：　上永谷保守管理所
目：10 線路保存費	課長名：　杉山　伸康

（単位：千円）

	8年度 A	7年度 B	増△減 A － B
予算額	11,106	9,289	1,817

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

（1　科目別積算内容）

節別科目名	積　算　額	積　算　項　目
42 油脂糸屑費	946	MC燃料(軽油）、レール清掃車ボイラー燃料（灯油）、保守用ウエス等
45 自動車燃料費	[redacted]	緊急自動車・庁用車用ガソリン、軽油（軽油引取税）
49 備消品費	3,536	共通・小額物品、テキスト代、作業用雑貨・新採用備品、雪害対策用備品等
51 光熱水費	1,593	ガス料金、上・下水道料金、灯油（雪害対策用）
56 旅費	472	市内・市外出張旅費、立会検査旅費、各種技能・資格講習旅費
57 通信運搬費	180	電話料金、切手代等
63 委託料	1,464	事務所清掃費、産業廃棄物処分費
64 手数料	892	各種技能・資格講習費、振込手数料、印紙代
65 賃借料	913	寝具賃借料、複写サービス
68 保険料	[redacted]	緊急自動車・庁用車任意保険料、自賠責保険料
73 自動車重量税	57	緊急自動車・庁用車自動車重量税
96 雑費	240	有料駐車場代
合　計	11,106	

（2　編成するにあたっての考え方）

（3　新規項目・主要事業等）

様 式 A

令和8年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　　項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	所属: 新羽保守管理所 課長名: 玉城 博之

（単位:千円）

	8年度 A	7年度 B	増△減 A － B
予算額	27,515	25,345	2,170

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
42 油脂糸屑費	819	軽油、灯油、タオルウエス
45 自動車燃料費	[redacted]	庁用車用ガソリン、軽油
49 備消品費	4,606	小額物品、事務及び作業用備品、消耗品、工具類等
51 光熱水費	11,109	ガス・上下水道使用料金
56 旅費	668	市外・市内出張、各種講習・研修、立会検査等出張旅費
57 通信運搬費	578	電話料金、切手代
60 負担金	40	高圧ガス協会年会費
63 委託料	3,951	建物清掃、産業廃棄物処理委託等
64 手数料	1,356	各種講習・研修受講料、庁用車車検印紙代等
65 賃借料	1,922	寝具リース、複写サービス
68 保険料	[redacted]	庁用車自賠責・任意保険料
73 自動車重量税	42	庁用車重量税
96 雑費	530	有料駐車場利用料
合　　計	27,515	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）
改修工事に伴う引越し費用
7年交換の車両基地の消火器を3年に渡り更新（1回目）
コロナ前まで受けていたKYTセミナー受講の復活
合羽を一斉に更新

様 式 A

令和8年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	所属: 新羽保守管理所 課長名: 玉城 博之

（単位:千円）

	8年度 A	7年度 B	増△減 A － B
予算額	115	120	△ 5

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
49 備消品費	10	小額物品
64 手数料	105	高圧ガス検査費
合 計	115	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

令和8年度 経費 事業計画書

予　　算　　科　　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　　項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	所属: 川和保守管理所 課長名: 清水 一彦

（単位:千円）

	8年度 A	7年度 B	増△減 A － B
予算額	8,951	8,868	83

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
42 油脂糸屑費	920	軽油、ウエス
45 自動車燃料費	[redacted]	庁用車用燃料
49 備消品費	2,941	小額物品、共通物品、工具類等
51 光熱水費	1,262	水道代、白灯油
56 旅費	240	出張旅費
57 通信運搬費	138	電話料金、切手代等
63 委託料	1,182	建物清掃委託、産業廃棄物処分費
64 手数料	496	各種講習会受講料、各種免状交付料
65 賃借料	800	寝具、複写機賃借料
68 保険料	[redacted]	庁用車自賠責保険料、任意保険料
73 自動車重量税	48	庁用車自動車重量税
96 雑費	30	有料駐車場代
合　　計	8,951	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

令和8年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　　項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	所属: 施設課 課長名: 鶴岡 正宏

（単位:千円）

	8年度 A	7年度 B	増△減 A － B
予算額	56,016	44,590	11,426

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
60 負担金	2,063	道路管理システム利用料金、構造物支援システム運営協議会負担金ほか
63 委託料	47,333	除草作業、軌道管理システム保守管理業務委託ほか
68 保険料	6,600	公営地下鉄土木構造物保険
96 雑費	20	自動車借上げ費用（個人分）
合　計	56,016	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

令和8年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　　項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	所属: 施設課 課長名: 鶴岡 正宏

（単位：千円）

	8年度 A	7年度 B	増△減 A － B
予算額	16,049	20,435	△ 4,386

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
60 負担金	782	道路管理システム利用料金、構造物支援システム運営協議会負担金ほか
63 委託料	13,139	除草作業、軌道管理システム保守管理業務委託ほか
68 保険料	2,118	公営地下鉄団体土木構造物保険
96 雑費	10	自動車借上げ費用(個人分)
合 計	16,049	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

令和8年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用	所属: 建築課
目: 10 線路保存費	課長名: 金久 治夫

（単位:千円）

	8年度 A	7年度 B	増△減 A － B
予算額	[redacted]	128	[redacted]

	ブルーライン
	グリーンライン
○	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
63 委託料	[redacted]	設備区計器校正料(ガス検知器、騒音計、デジタル温度計等)
合　計	[redacted]	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

令和8年度 経費 事業計画書

予 算 科 目	担当
款: 02 高速鉄道事業費 項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

（単位:千円）

	8年度 A	7年度 B	増△減 A － B
予算額	3,170	7,951	△ 4,781

○	ブルーライン
	グリーンライン
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積 算 項 目
41 資産減耗費	[redacted]	上永谷車両基地清掃員詰所解体工事
49 備消品費		非常機材補充事業
63 委託料		煙突アスベスト調査委託料
合 計	3,170	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）

様 式 A

令和8年度 経費 事業計画書

予　算　科　目	担当
款: 02 高速鉄道事業費　項: 01 営業費用 目: 10 線路保存費	所属: 建築課 課長名: 金久 治夫

（単位:千円）

	8年度 A	7年度 B	増△減 A － B
予算額	34	10,710	△ 10,676

	ブルーライン
○	グリーンライン
	共通

【積算内容】

（1 科目別積算内容）

節別科目名	積 算 額	積　算　項　目
49 備消品費	34	非常機材補充事業
合　計	34	

（2 編成するにあたっての考え方）

（3 新規項目・主要事業等）